

—いのち、くらし、平和が大事！—

日本共産党京都市議会議員

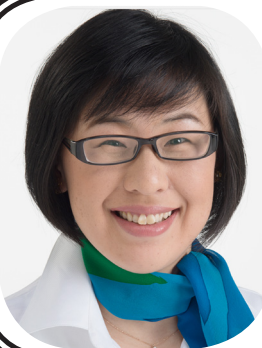
山本 陽子 活動ニュース

VOL.42 2019年1月20日号

連絡先 日本共産党山科区生活相談所 山科区西野大手先町8-8 ☎595-8342

2019年
本年もよろしく
お願いいたします。

山本陽子
山本陽子
山本陽子



後期高齢者人間ドックの補助を廃止する国の方針に怒り！



新年のご挨拶に、たくさんのお宅を回らせていただきました。そのなかでもいろいろな声やご要望をお聞きしました。今後の活動に活かして取り組んでいきます。

お聞きしたのは、75歳以上の後期高齢者の方が、3割負担で受診できる人間ドック。医療機関に直接申し込みできていたのが、今年からはハガキ申し込みの先着順で定員数内の順番に入らなければ受診できないと断られた、というお話でした。調べてみると定員4200人分に対して、6700人の方が申し込まれており、苦情が殺到していたこともわかりました。

高齢者人口は増えているのに、定員数が足りないばかりか、実は国は2021年に補助金を廃止するという方針を示していることもわかりました。国が2018年から段階的に予算を削減しているので、後期高齢者医療広域連合が補填しているということですが、国の補助が全額廃止されれば、補助制度が存続できるかどうかわかりません。

高齢化社会に高齢者が健康で長生きできるために、人間ドックの受診ニーズが高いことはいいことなのに、その予算を削る国の方針に怒りです！京都市でもぜひこの問題を取り上げなければ！



2019年は元旦の毘沙門宣伝から始動でした！

子育て支援を考えるシンポジウム

山科の子育て世代のママ達を中心になって企画しました。保育士が語る保育園問題、教師が語る学校問題、奨学金や高校入試制度、子どもの医療費助成制度の拡充や全員制の中学校給食の願い、伊根町への子育て支援制度視察等の報告。私も議会の状況を報告させていただきました。子育てをめぐる環境はますます深刻だと実感しました。



分散会では意見交流しましたが、子育て中の現役の先生からの悲痛な声が……。朝7時半には学校に出勤、仕事を終えるのが夜8時半、自分の子どもはまともにもみられない。教師を評価するシステムのなかで、学力テストの成績によって教師の評価にランクがつけられ、上がれば給料の加算、悪ければ研修。中間休みに職員室に戻ってお茶を飲むこともチェックされてマイナス評価となる。校長や教頭も評価をされているが、入学式などで生演奏をするとプラス評価になるので、新曲の練習を深夜遅くにしなければならない。睡眠時間は3、4時間。もう身体が壊れる。最近では体調を崩して教師が休職しても代替りの講師が見つからず補充がない。子どもをとりまく大人も追い詰められているのは問題です。

世界をみればOECD諸国34か国のなかで教育費の予算は日本が一番低くて、GDPの2.9%。これに比べてフィンランドでは5.6%、平均が4.2%ですから、そもそも日本の予算が少ないのです。教師を増やす、保育士の処遇向上、子育て支援の充実が急務です！運動と連帯して具体的な施策を実現していけるのは日本共産党だからこそ。シンポジウムを力にがんばります！

ヨココの ママチャリ 子育て日記

夫婦喧嘩の仲裁をする8歳の息子



新年早々、夫婦喧嘩の話で恐縮ではありますが、さすが、私たち夫婦のダメさ加減よりも、子どもの偉大さに感動した話です。

どこの家庭でもそうでしょうが、夫婦の喧嘩は互いに熱くなって最後は平行線でもうもならないのが世の常です。そこに、誰か冷静な第三者がいてくれれば問題は大きくならずすむのですが、その役割を八歳の息子が担って必死に喧嘩をとめてくれました。

「落ち着いて、落ち着いて」とどの言いたいことは？」「かかの言いたいことは？」必死に親を落ち着かせて、それぞれの言い分を聞いて、「今度から守ってね」とケリをつける。

「お茶でも飲んでお話ししたら、仲直りできるしな」と言って、カップに牛乳を入れてもってきてくれました。

お姉ちゃんは傍らで泣いているばかりでしたが、それが普通です。弟君は必死に親の喧嘩をとめて見事に仲直りさせてくれました。

「俺ってスゴイやろ。」

いや、ほんまにありがとう！
親の気持ちも大切に
して、立ち向かえる子
になってくれてありが
とう。

子どもの成長に支え
られて、これからもが
んばります！

